めばえ通信

通巻 349 号
令和8年4月24日
発行/こども発達センターめばえ

「こどもの“遊ぶ心の動き”を届けるドキュメンテーションとは」

令和８年度が始まりました。めばえの毎日通園・親子通園・並行通園・保育所等訪問支援に、新しいこどもたちが仲間入りしました。

４月当初は、新入園児はもちろん、進級児も保育室が変わることで不安が大きく表れます。こどもたちが一日も早く新しい環境に馴染めるよう、まずは「いつもと変わらない」安心できる環境で毎朝迎えています。保育室には、こどもが好きなものを取り入れた“楽しい仕掛け”を用意し、保育士等と一緒に遊ぶ中で、少しずつ「ここは安心できる場所だ」と感じられるようにしています。

４月後半になると、こどもたちは園庭の砂場へ一目散に走ったり、虫探しやすべり台、友達との追いかけっこなど、それぞれが「やりたいこと」を見つけて遊び、探索する姿が増えていきます。クラス活動では、絵の具で手形アートをしたり、片栗粉や小麦粉に水を少しずつ加えて粘土にしたりと、様々な素材に触れます。ワクワクしながら楽しむ子、ベタベタが苦手で触りたくない子など、興味の入口は一人ひとり違います。しかし、クラス活動だからこそ「〇〇ちゃんがやっているそれは何？」「ぼくもやってみたい」と、友達の姿に刺激を受け、何度か経験するうちに「ぼくもやってみる」と気持ちが動くことがあります。これこそが集団活動の醍醐味です。こうしたこどもたちの姿は、帰りのお迎え時に直接お伝えしたり、連絡帳に 2～3 行ほどですが、遊んでいるそばで走り書きをして記録しています。また、月ごとに発行するクラス便りでは、活動の様子を文章と写真で紹介しています。

昨年度より、『ドキュメンテーション』を取り入れたお便りづくりを始めています。では、ドキュメンテーションとは何のために行うのか。従来のお便りと何が違うのか。私自身も職員も学びながら取り組んでいますが、こどもの遊びには「おもしろい」「もっとやりたい」と心が動く瞬間があります。単に「小麦粉粘土をしました」という記録ではなく、一人ひとりの感情が動き、身体が動き始める“その瞬間”を切り取り、写真として残していきます。全員が写ることを意識しすぎると、結果として「誰が何を面白がったのか」が伝わらない記録になってしまうこともあります。だからこそ、日々の活動の中で写真を見返しながらこどもの姿を深く理解し、明日の療育につながるヒントを見つけていきたいと考えています。

また今年度は、ひがしめばえで保育アプリを試行的に導入し、行事の連絡などやドキュメンテーションの内容を少しずつ保護者の皆さまにお届けできるよう準備を進めています。

こどもたちは、新しい生活に慣れるまで少し時間がかかると思います。しっかり休息をとり、翌日を気持ちよく迎えられるよう、ご家庭でのご協力をお願いいたします。保護者の皆さまと共に、こどもたちの成長を喜び合える一年になることを願っています。

こども発達センターめばえ・みなみめばえ・きためばえ・ひがしめばえ施設管理者　吉井桐子

個別支援計画の５領域について　～こどもたちの発達をまるごとみる～

新年度がスタートしました。こどもたちは、新しい環境や先生との関係にドキドキ・ワクワクの時期かと思います。こどもたちが安心して生活したり、教室活動に参加できるよう、丁寧に見守っていきたいと思います。

さて、保護者の皆様とは年度末～４月にかけて個別面談で、生活や教室活動のねらいとなる個別支援計画を作成しています。この個別支援計画の項目の一つに、『５領域』があります。この５領域は、令和６年度から個別支援計画に追加された内容です。既に個別支援計画の中で目にされている方も多いと思いますが、“どんな内容なの？”“なぜ必要になったの？”等、疑問に思われている方がいるかもしれません。今回は、この５領域についてお話したいと思います。

５領域ってどんな内容？

５領域は、こどもたちの発達支援を考える時に大事にしたい、意識したい視点とされています。「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の５つに分かれています。少しかたい表現が多くなりますが、内容を私なりにまとめたものを載せてみました。

「健康・生活」
健康状態を維持する、生活リズムや生活習慣をつける、睡眠・食事・排泄等の生活スキルを身につける（生活環境を整える等の配慮をする）

「運動・感覚」
姿勢と運動・動作の力をつける（補助用具等の方法を活用する）、あそびを通して色々な感覚を使う（感覚の過敏・鈍さ等の特徴に配慮する）

「認知・行動」
周りの情報を得ながら見通しを持って行動する（認知の特徴、こだわりや偏食に配慮する）、形・大きさ・色・数等の理解をしていく

「言語・コミュニケーション」
言葉の理解や表出・人とのやりとりやコミュニケーションが育つ、身振りやサイン等の表現手段が育つ、関わりを通して周囲の様子を理解したり自分の思いが伝えられる（文字・記号・絵カード等を活用する）

「人間関係・社会性」
アタッチメント～愛着行動～が育つ、あそびを通して真似したり人とやりとりする力をつける、あそびを広げながら人との関わりを経験する、自分の気持ちや行動に折り合いをつける、集団参加を経験する

個別支援計画では、この５領域の視点でこどもたちの姿を聞きとったり、こどもたちの目標が５領域の視点でみるとどれに関連するかをみていきます。例えば、「ズボンを履く経験をする」という目標があった時、５領域は“生活スキルを身に付ける”内容である「健康・生活」と関連します。この内容のように、５領域は“生活や活動の中でどの視点からこどもたちの姿をみていけ

ばいいか”、“どの視点からねらいを持って活動を決めたり関わったりしていけばいいか”を考えていく、きっかけや方向性を示してくれます。

また、余談になりますが個別支援計画に５領域が追加されたのに合わせて、こどもたちの支援にかかわる施設の『支援プログラム』の作成と開示が義務付けられました（各施設の玄関に掲示し、東遠学園組合ホームページにも載ってます）。その支援プログラムにも、５領域の視点が取り入れられています。

なぜ５領域が必要になったの？

個別支援計画や支援プログラムに５領域の視点が必要になった理由の一つは、施設の発達支援のねらいがはっきりしなかったり、支援が特定の視点に偏ったりする心配がでてきたからです。近年、こどもの療育支援の場が増えてきた中で、極端な例ではありますが、こどもたちを預かる事のみに重きが置かれているように感じる支援がみられたり、コミュニケーションの事だけ・運動の事だけというように偏ったねらい（計画や支援プログラム）を持った支援がみられるようになっているようです。それに対し、国の方針として、“こどもたちには総合的な支援として発達で大事にしたい視点（５領域）をバランスよく網羅していく事”が求められるようになりました。

こども発達センターでは、５領域が取り入れられる前から、身辺自立・運動、言語・コミュニケーション、あそび・社会性等、同じような視点を持って、こどもたちの発達を理解したり、こどもたちの色々な姿をみながら生活・活動のねらいを考えてきました。

こどもたちの発達をまるごとみる

こどもたちの発達は、一つの視点に限定されず、色々な視点が重なり合っているものです。例えば、先ほどの「ズボンを履く」場面も、“生活スキル”に注目すれば「健康・生活」に関連しますが、“上手く履けない時に大人に表現する”という姿に注目すれば「言語・コミュニケーション」に関連します。また“履くという力に繋がる姿勢や動作を作る”“締め付ける感覚が苦手なので、ゆったりとしたサイズや素材を選ぶ”という配慮に注目すれば「運動・感覚」にも関わります。また、“頑張れた時には一緒に喜び合い共感する”という職員の関わりは「人間関係・社会性」の視点にも関連するかもしれません。こどもたちの心の中に、“大人に共感されたい・認められたいねがいが育つ”事で、やらされるだけでなく“自分でやってみたい”という生活スキルへの意欲に繋げたいと感じます。さらに“お友達が履いている姿をみる”という他児との関わりを通して“ぼくも・わたしも”という気持ちを育てていくのも「人間関係・社会性」の経験です。

このように、「ズボンを履く」という場面にも、こどもたちの発達の色々な力が関係しており、５領域からこどもたちの姿をみる事で、こどもたちの発達や支援を一つの視点からではなく色々な視点からまるごとみていく事になると感じています。個別支援計画の中のひとつのねらいに対して、５領域の項目に複数チェックが入るのも、こうした理由からです。

こどもたちに“これからどんな経験と出会わせてあげたいか”、“どんな姿に育ってもらいたいか”…個別支援計画は、職員が保護者の方と共にねがいを考え、ひとりひとりのこどもたちに向けられるメッセージだと思います。こどもたちにそのメッセージを受け取ってもらえるよう、これから保護者の皆様と日々の療育に取り組んでいきます。一年間よろしくお願いいたします。

こども発達センターめばえ　　中村　洋平

「新しい季節を元気にスタート！」

新学期が始まるこの時期は、環境や生活リズムが変化し、体調を崩しやすい季節です。毎日の体調管理を大切にし、元気に過ごせる身体づくりをしていきましょう。

早寝・早起きを心がけよう

十分な睡眠は、日中の疲れを回復させるだけでなく、成長ホルモンの分泌を促し、脳や身体の発育にも大切な役割を果たします。規則正しい睡眠習慣を身につけましょう。

朝ごはんをしっかり食べよう

朝食は体を目覚めさせ、その日１日を元気に過ごすためのエネルギーになります。脳にも栄養が届き、情緒の安定や集中力の向上にもつながります。

日中はしっかり身体を動かそう

外で身体を動かして遊ぶことは、心地よい疲れをもたらし、夜の眠りをスムーズにしてくれます。適度な運動を取り入れ、健やかな生活リズムをつくりましょう。

クリーン活動、本当にありがとうございました！

こどもたちの療育環境を整えるために、4月19日の朝から14人の保護者に、草刈り・草取りだけでなく、園庭の柵前のネット・寒冷紗張り等をしていただきました。保護者のみなさんの多大なるご協力のもと、怪我等トラブルもなく、無事終える事ができました。きれいになった園庭で、こどもたちも安全に遊ぶことができます。ありがとうございました。次は９月にあります。暑い時期ですが、よろしくお願いいたします。

≪４・５月のおもちゃ図書館≫

菊川おもちゃ図書館あそぼ
4月11日（土）／5月9日（土）
開館場所：プラザけやき
10：00～11：30（検診ホール）
13：30～15：30（児童館あそぼの部屋）
連絡先：0537−37−1135

掛川キューピーおもちゃ図書館
会館場所：総合福祉センター
1階西側　Myラボ
4月19日（日）／5月17日（日）
10:00～12:00　13:00～15:00
連絡先：0537−22−1309

発行者・お問い合わせ／こども発達センター めばえ
TEL）0537−23−2312　FAX）0537−23−0008
東遠学園　めばえ　検索
学園ホームページ

5月の予定

5月			バス ○14:30 発
1	金	引き渡し訓練	在のみ朝○ 帰り×
2	土		
3	日	憲法記念日	
4	月	みどりの日	
5	火	こどもの日	
6	水	振替休日	
7	木	新入園児バス利用開始	○13:00
8	金		○
9	土		
10	日		
11	月		○
12	火		○
13	水		○
14	木	保育参加日(栄養士からの講話・防災食展示)	×
15	金		○
16	土		
17	日		
18	月		○
19	火		○
20	水	小児科健診①PM	○
21	木	尿検査１次	○13:00
22	金		○
23	土		
24	日		
25	月		○
26	火		○
27	水		○
28	木	保護者参加日(保護者会総会・クラス懇談) ※年間予定と印鑑をご持参ください。	○13:00
29	金		○
30	土		
31	日		

お知らせ

○１日（木）引き渡し訓練

詳細は別紙お便りをご確認ください。帰宅するまでが訓練の為、帰りの預かりはありません。ご協力お願いします。

○バスについて

新入園児のバス利用は７日（水）から開始します。バス表を確認し、予定時刻の５分前には待機していてください。

○20 日（水）小児科健診①

医師に伝えたい事や聞きたい事がある場合は、お越しいただくか事前に連絡ノートに書いてお知らせください。お休みの場合は各自病院での健診をお願いします。２回目は 10 月 21 日（水）です。

○21 日（木）尿検査

検尿キットは後日配布します。朝 9:30 までに提出してください。採尿が困難な方は職員にご相談ください。

○28 日（木）保護者総会・クラス懇談会

9:30～10:15　じゃ・にん　クラス懇談会
10:30～11:40　全クラス保護者総会（資料、年間計画、発達相談、OT・ST について）
12:00～12:45　ぴい・たま　クラス懇談会
懇談会では、クラス目標を説明したり、お互いの自己紹介等を行ったりしたいと思います。

６月の予定

１日（月）～５日（金）家庭訪問のため
短縮日課(13 時降園)

11 日（木）親子運動会　あいりーな

22 日（月）プール開き